

【市長】 昨年は、政治的に大きな変動があった一年でしたが、そんな中でも明るい話題がありました。例えば、滋賀学園高等学校野球部が全国高等学校野球選手権大会で初めてベスト8に進出したり、同校陸上競技部の落合晃さんが800メートルで日本新記録をマークするなど、若者のすばらしい活躍がありました。



五個荘中央公園で開催された赤レンジャイ祭り（令和6年11月）

また、まちづくりの大きな出来事として、4月1日から近江鉄道線が上下分離方式に移行したことが挙げられます。新しい形で近江鉄道がスタートでき、ICOCAの導入も決まりました。



布引体育館で開催された日本商工会議所青年部近畿ブロック大会江州ようかい大会（令和6年11月）



第1回東近江市経済団体同友会（令和5年7月）

そのほか、能登半島地震で被災された人々に、各事業で集まったチャリティー募金を義援金として送るなど、役職員が丸となって各事業に取り組みました。

【二橋】 昨年11月に八日市商工会議所青年部が市内で開催した日本商工会議所青年部近畿ブロック大会江州ようかい大会では、近畿各地から1500人を超える会員の参加があり、大

いに盛り上がりました。また、大津市で開催された全国商工会議所女性会連合会滋賀全国大会では、女性会の皆さんに心のこもったおもてなしをしていただきました。改めて会員事業所の皆さんのパワーを感じるとともに、商工会議所の連携を深められた一年になったと思います。

令和5年4月には、八日市商工会議所と東近江市商工会が中心となり、農業関係者や報道機関、金融機関などで組織する東近江市経済団体同友会が発足しました。今後連携を深め、国や県への要望もますます強化していきたいと思っています。

【鈴木】 中小、小規模事業者の経営環境は、大変厳しい状況に置かれています。そこで昨年、「能登半島地震義援金付きプレミアム商品券」を販売しました。この商品券は、消費を喚起し、会員事業者の販路拡大や

——一年を振り返って——

令和7年

新春対談

まちのにぎわい創出に向けて



東近江市商工会

鈴木重史 会長

八日市商工会議所

二橋省之 会頭

東近江市長

小椋正清

【市長】 旧年中は市政各般にわたり多大なご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。昨年は正月から能登半島で大きな地震があり大変な幕開けとなりましたが、今年こそは、災害のない安全安心で穏やかな日々が過ごせるすばらしい一年になることを願っています。

【二橋】 八日市商工会議所は、皆様の期待に応えるべく、役員一同頑張っておりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【鈴木】 令和7年の輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も商工会事業各般にわたりご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

東近江市は、今年2月に誕生してから20周年を迎えます。今年の新春対談は、まちのにぎわいの創出について経済界の視点から八日市商工会議所の二橋省之会頭、東近江市商工会の鈴木重史会長、小椋市長の三人に話を聞きました。



鈴木重史 (すずむら しげふみ)

昭和25年旧愛東町生まれ。株式会社アプテックの創業者。旧愛東町議会議員、東近江市議会議員を経て、道の駅あいとうマーガレットステーションの運営母体である一般財団法人愛の田園振興公社の理事長として活躍。令和3年5月に東近江市商工会の会長に就任（現在2期目）。何事にも情熱をもって接し、感謝の気持ちを忘れず日々精進している。

一方で、本市には、森里川湖という多様な高い自然の中に千年を超える歴史・文化・伝統が数多くあります。市の発展には、市民の皆さんに、こうした素晴らしい素材や歴史・文

【二橋】市には、うるおいにぎわいのあるまちづくりをますます充実

—— 市政に期待すること ——

しっかり対応することです。これまで、結婚から妊娠、出産、子育て、そして教育まで切れ目なく支援する環境をしっかりと整えてきたつもりですが、これからも「このまちで生まれて良い人生だった」と思ってもらえるまちを目指して施策を進めていく必要があります。これは20年先を見据えた地域活性化の基本的な考え方だと認識しています。

して、働きやすいまち、住みやすいまちを一層進めていただけるものと期待しています。

また、八日市商工会議所は、来年70周年を迎えます。今まで諸先輩方が築き上げられたものをさらにもう一歩進めていくため、商工会議所のあり方を考えながら、いろいろな施策に取り組んでいきたいと思っています。

【鈴木】市には、より快適な都市基盤整備、次代を担う青少年の健全育成、また、農業や商工業など産業の育成、防災・防犯など安全安心な社会の構築をこれからも力強く進めていただきたいと思っています。そして、今後も各施策に磨きをかけるとともに新たな施策の検討も進め、よ

—— 市民の皆さんへメッセージ ——

り魅力のあるまちづくりを期待しています。

【市長】今年は、東近江市が誕生して20年という大きな節目の年を迎えます。経済界や各種団体が同じ方向を向いて、しっかりとこのまちの発展のために取り組んでまいります。滋賀県は全国的に見ても自然災害による経済的損失が少ない地域ですが油断することなく、より一層安全で安心なまちづくりを進めてまいります。また、わがまちのことだけでなく、広域防災という観点から全国の避難者を長期間受け入れられる体制を整えることも必要だと考えています。



二橋省之 (ふたはし よしゆき)

昭和39年旧八日市生まれ。株式会社二橋商店代表取締役。東近江ロータリークラブ会長を務めるなど地域奉仕にもいそしみ、滋賀県セメント販売協同組合理事長も務める。令和4年には八日市商工会議所第12代会頭に就任（現在1期目）。令和5年に市中心市街地活性化協議会会長に就任。令和6年東近江国際交流協会会長に就任。地域経済の発展と地域の活性化を目指して奮闘中

売り上げの増加につなげ、市内経済の発展に貢献ができたのではと思っています。

また、J・R能登川駅東口道路整備促進委員会を立ち上げ、J・R能登川駅東口周辺道路の速やかな早期着工を目指し、検討を始めたところです。

【市長】まちのさらなる飛躍の基盤となることを目的に東近江市経済団体同友会を発足しました。八日市商工会議所と東近江市商工会のつながりだけではなく、農業関係者や金融機関、報道機関、工業会、観光協会なども含めて、その横串を通すという考え方です。行政だけでなく、総力戦でまちの活性化に向けて取り組んでいきたいと思っています。

—— 20年先を見据えたまちづくり ——

【鈴木】東近江市も人口が減少し、将来、産業の衰退が懸念されます。その中で、地域が活力を失わず、安全で快適な生活を送ることができるよう自立した生活圏の形成が必要だと考えています。

また、安心して暮らせるまちづく

りのためには、防災意識の向上や地域コミュニティの強化が求められており、官民一体となって防災・減災対策を講じる必要があります。私たち商工会も、その一翼を担いたいと強く思っています。

【二橋】20年先に向けたまちづくりを考えると、道路網の整備や交通網の充実が必要だと考えます。また、DX（※1）やICT（※2）の推進など難しい言葉が使われる時代ですが、それを会員事業者の皆さんが理解・活用して地域経済の振興にいかしてもらえよう、商工会議所が後押ししていきたいと思っています。

さらに、福利厚生の実施など、商工会議所が支援できることは何かを

考え、企業活動を充実させていくことが20年先を見据えた中で、まずやらなければならないことだと考えています。

【市長】大規模な事業として、都市計画道路小今建部上中線や国道307号、国道8号、国道421号の整備、（仮称）黒丸スマートインターチェンジなどの道路整備を継続し、工事を急ぎたいと思っています。

もう一つ重要なことは、農家を取り巻く状況が非常に厳しいことです。本市には、8300ヘクタールという近畿最大の耕地面積があります。農家の収益を上げるため、国直轄の土地改良事業を進めています。また、最も大切なことは少子化に

化が市内に数多くあるということを知っていただき、まちに誇りと愛着を持っていただくことが必要であると思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

※1デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革すること。

※2日本語で情報通信技術を意味する言葉。インターネットなどを經由して人と人をつなぐ情報通信技術

新春対談の様子は、東近江スマイルネットでも放送します。(15分番組)

- 1月1日(祝) 午前8時、正午、午後6時
- 1月2日(木) 午前8時、正午、午後6時
- 1月3日(金) 午前8時、正午、午後6時

※詳しくは、東近江スマイルネットの番組表をご覧ください。